



式典にはプロジェクトの関係者が多く出席した。右から1人目はオリエンタルコンサルタンツグローバル軌道交通技術第二部の石川唯志氏、2人目は米澤栄二社長

スリランカのLRTプロジェクト始動

オリエンタルコンサルタンツグローバルらがコンサルテイング業務を手掛けるスリランカの次世代型路面電車（LRT）プロジェクトの開始式典が3日、コロンボ市内で開かれた。同市と近郊を結ぶLRTの新設により、輸送能力の増強と公共交通サービスの安全性や信頼性、快適性の向上を図る。式典にはラニル・ウィクラマシンハ首相、チャ

オリコンサルグローバルら

ンピカ・ラナワカメガボリス西部開発省大臣、杉山明駐スリランカ大使らが出席した。毎日100万人が流入するコロンボ市では自動車が主な交通手段となっている。通勤・通学時間帯を中心に発生する激しい交通渋滞が課題。LRTの整備計画では高架軌道16駅、総延長15・7キロの路線を新設する。2025年初頭の開業を予定している。

同プロジェクトは国際協力機構（JICA）による円借款で実施。JICAと同国政府は3月「コロンボ都市交通システム整備事業（第1期）」を対象に、300億4000万円を限度とする円借款貸付契約に調印していた。オリエンタルコンサルタンツグローバル・日本コンサルタンツ・長大・日本工営が詳細設計、入札補助、施工監理に関するコンサルティングサービスを実施する。